

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		ハピネス 中村校				公表日		令和 7年 12月 1日					
						利用児 童数		32名		回収数		30枚	
			チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからな い	ご意見		ご意見を踏まえた対応			
環 境 ・ 体 制 整 備	1		こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	28	1	1		・新しい場になり動きやすそう ・充分		今後とも引き続き努めて参ります			
	2		職員の配置数は適切であると思いますか。	24	2		4	・子どもに対しての大人の人数が把握できていない ・今何名のスタッフがいるのか分からない					
	3		生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	23	4		3	・遊ぶ場と学習の場と分かりやすくなっている		動と静を分けながらさらに、子別（こべつ）化しながら対応しております。			
	4		生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	30				・毎日丁寧に掃除をしていただいている姿を拝見しています		清掃面、衛生面において充分に気を付けながら業務遂行しております。			
適 切 な 支 援 の 提 供	5		こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	28	2			・スタッフの経験や年数によって差はあると思いま す ・子に合った支援を提案してもらえたりするので良 い		・スタッフそれぞれの得意を活かしながら、 スタッフの個としても存分に力を発揮できる ように努めております。統一した支援のみならず、 働く環境と安全安心できる環境を整えながら会社づくりを行っております。 ・児童の「今」と「未来」に目を向けて、プロセスづくりの中でより良い支援方法を常に考慮しております。			
	6		事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	27	2		1						
	7		こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	30				・いつもモニタリングでの話し合いをもとに作成されています		児童の背景としてある家庭やその取り巻く環境のなかで、常により良い環境を整備と居場所を作れるよう心がけております。			
	8		放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	27	1		2						
	9		放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	29	1								
	10		事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	24	5		1	・都度段階に合わせてチョイスしていただいております 感謝しています ・いろんなイベントが多く感謝しています					
	11		放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	4	6	16	・お出かけ場所が同じところが多い ・今は分からないが以前は公園で交流があった					
保 護	12		事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	25	2	1	2						
	13		「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	30									
	14		事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15	3	2	10	・学習機会はなかったように思います		以前までは定期的に勉強会を開催しておりますが、ここ最近行えていないのが現状です。又、送迎時や個別での連絡を差し上げて対応はさせていただいておりますので、今後、全体に向けてのペアレントトレーニングとして保護者向けの会を開催していこうと思います。			
	15		日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	27	2		1	・よく様子を見てもらえていると思う ・送迎時に様子を教えていただいています		児童に対しての保護者が気づかない面や事業所でだけ見せる顔があるので、保護者との連絡は常にとれる状態と情報共有は徹底しております。			
	16		定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	26	2		2						
	17		事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	28	1		1						

者 へ の 説 明 等	18	<p>父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。</p>	14	4	2	10	・中々兄弟の参加が難しい為、交流する機会がない	<p>近年、きょうだい児に対しての家庭内支援のニーズが高まっております。家庭のなかでの関わり方等を通して、支援としてお伝えできることもありますので、今後、機会を増やし直接お話や関わりを持てるようにしていきます。</p>
	19	<p>こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。</p>	28	1		1	・子どもが学校に行けないとき、相談にのって頂き大変助かりました	<p>・児童の居場所づくりとして「家庭」「学校」以外にもあるという事実を年頭に入れ、居場所作りのサポートやご相談等、常時承っております。関係する周りの大人が選択肢を広げて、居心地の良い居場所づくりをご提案できれば良いと感じております。</p>
	20	<p>こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。</p>	27	2	1		<p>・送迎時間の兼ね合いで中々職員さんと話ができていない</p> <p>・リトムに記入しても対応していただけない時がある</p>	<p>・送迎職員はランダムですが、均等に送迎場所へ行けるように配慮していきます</p> <p>・リトムに記入していただいた内容には職員は必ず目を通しておりますが、こちらの不手際で対応ができなかった、漏れていたことが発生していたのかもしれないので、今後、注意して参ります</p>
	21	<p>定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。</p>	23	3		4	・SNSでいつも観ています	<p>SNSでの発信を継続して注力していきます</p>
	22	<p>個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。</p>	23	1		6	・フェイスシート、アセスメントシートはどのように管理されているのか分からない	<p>個人ファイルにファイリングし、鍵付き（義務）書庫にて保管しております</p> <p>必要時以外には開閉しないように最新の注意を払っております。</p>
非 常 時 等 の 対 応	23	<p>事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。</p>	18	2	1	9	<p>・参加した事がないので分からない（訓練等）</p> <p>・訓練が行われているのか分からない</p>	<p>BCP（事業継続計画）や感染症対策・事故防止・緊急時避難対応等の訓練と議事録は策定しており、従業員間での周知徹底を図っております。</p> <p>保護者様への周知として今後、周知できるように務めて参ります。</p>
	24	<p>事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。</p>	18		1	11	・災害備蓄品などあるか分からない	<p>災害時等による備蓄用品は常備しております。</p>
	25	<p>事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。</p>	26	1		3		
	26	<p>事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。</p>	26	2		2	<p>・すぐに対応していただけた</p> <p>・小さなことも説明して下さるので安心</p> <p>・大きな怪我をしたことがない為わからない</p> <p>・ひっかき傷等の報告はない</p>	<p>何かあれば早急に対応をさせていただいておりますが、万が一、保護者様との連絡が取れない場合は事業所内での処置や必要に応じて協力医療機関での処置をできるように準備は整っております。</p>
満 足 度	27	<p>こどもは安心感をもって通所していますか。</p>	29	1			・とても安心している	<p>常に安心できる環境整備と職員への指導をしています。</p>
	28	<p>こどもは通所を楽しみにしていますか。</p>	27	3			<p>・どんなイベントがあるか楽しみにしています</p> <p>・毎回楽しみにしている</p> <p>・子どもが喜ぶイベントを沢山企画して下さりとても楽しみにしている</p> <p>・休日も何をするのか聞いて喜んでいる</p> <p>・どの職員がいるのかいつもウキウキしている</p>	<p>通所を楽しく且つ学びのある場所として、楽しい気持ちをもって通所できるように心がけております。</p>
	29	<p>事業所の支援に満足していますか。</p>	28	2			<p>・とても満足しています</p> <p>・たくさんのイベント、全力の支援ありがとうございます</p> <p>・満足している</p>	<p>指導者の質の向上もさることながら、児童への支援としてさまざまな視点からも着目すべく、保護者様や関係機関との連携を図り、的を得た支援を遂行すべく精進して参ります。</p>

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ハピネス 中村校				
		公表日				
		令和 7年 12月 1日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		運動スペース（動）・学習スペース（静）を分けることによってスペースの確保に努めている	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	バリアフリー化はできていないが、事業所の設備等点検は都度整えている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		清掃業務は日々、実施しており衛生面での清潔を保っている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		必要に応じて個室を開放している	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		MGを実施し、職員間での周知をしている	評価表のみならず、保護者からの意見等をモニタリング時等に伺える時間を設け、業務改善に努めて参りたいと考えます
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		法人内では勉強会・研修等を実施しており、外部の研修も積極的に参加している	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		MGや都度更新された情報や変更された情報は都度、職員間での共有をしている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			



提供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎日実施しております。 情報共有と共通認識の再確認をして、日々の支援に漏れないこと・確実に行えるように務めております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		年間計画や下校時刻等の確認はその都度出来ており、児童の様子等も含めて共有出来ております	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○	中々連絡がとれないこともあるのだが、連絡がとれる時などは行っています	積極的にこちらからの促しや連携を図っていきたいと思っております
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○	現状、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所へ移行する案件が発生しておりません	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		2か月に一度、保護者様同士で交流の出来る機会を設けているが、兄弟同士での交流は現実的に難しい面もある	近年、きょうだい児への支援等でニーズが高まっていることもあり、今後、交流頻度や交流できる内容の会を開催するなどして進めていきたいと考えております
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		服薬やてんかん発作等がある児童については、利用契約時と服薬開始時に確認と記録（同意）をするようにしております	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			安全計画は策定している為（義務）、基づいて保護者様への周知を行っていきたいと考えます
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットを週ごとにまとめ、情報共有と安全管理・設備の点検を同時に実施しております	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	ハピネス 中村校			
○保護者評価実施期間	令和 7年 10月 1日		～	令和 7年 11月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32名	(回答者数)	32名
○従業者評価実施期間	令和 7年 10月 1日		～	令和 7年 11月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 12月 1日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門資格所持者が所属していることで、より支援の専門性を高め事業所内での活動の幅が広がっている 又、発達検査が実施できることで、保護者や外部からの依頼で信頼性を高めている	社内研修を増やし、外部研修に積極的に参加し、職員のスキルアップに繋げている 質の向上を日々実践的に行うことで、飽きさせない療育と的を得た支援を行っていく	外部からの講師を招いて、研修制度を図りたいと考えている
2	多彩なプログラムを考案し、提供している	児童が期待に胸を膨らませ、想像力を膨らませるような楽しみなイベント行事や恒例イベント（定着型）を実施している 公共施設・商業施設への外出活動や室内活動を多種多様なプログラムを行っている	児童やまたその保護者からの意見も尊重し、ともにPDCAサイクルでひとつの完成を目指していけるような取り組みを実施していきたい
3	急遽、学校や園への登校登園が難しくなった場合、当日利用の受け入れを100%実施できている	日々、安心・安全な環境整備と衛生的且つ清掃業務にも徹底しているので、突発的な事態にも対応可能	常習的に不登校児やひきこもり児童への支援と居場所づくりができるように、業務の見直しや従業員の勤務時間の見直し等、細かく決めていかなければならないのが懸念点であり、今後の課題である

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域社会との共存を目的とした活動範囲を拡げ、地域活動を実施できていない面があるので、今後の課題であり、より社会への貢献を高めていきたいと思っている	地域社会での活動を強化していきたい	中村区自立支援協議会からの活動内容の強化と地域社会との交流を深め、社会貢献を強めていく必要がある 又、地域住民との交流を深め、会社としての活動の幅を広げていきたい
2			
3			